

中川正春の永田町かわら版

2005/9/22 第240号

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

○反省の多い選挙。しっかり出直し です。

大変な選挙でした。本当にありがとうございました。

小泉さんの「ケンカ政治」突風が吹き荒れて、私達の党の大事な人材が沢山なぎ倒されてしまいました。私自身の選挙区でも、自民党という名で選挙をしている人たちの間に、これまでにない元気と広がりが出てきて、選挙の中盤には、危機感が募りました。しかし、そんな状況の中でも、私が勝てた事だけでなく、三重県全体で、前回の選挙を上回る結果を得られたことは、本当に皆さんのお蔭です。腹のそこから湧き上がってくる感謝の気持ちでいっぱいです。

4区では、伊藤忠治さんのあとを継いだ森本哲生さんが、皆さんのお蔭で比例で復活当選をしました。地元での活動と同じく、東京でもさっそくに精力的に挨拶回りをこなし、農業や総務の関係委員会に所属して頑張ると張り切っています。

新しい民主党代表も決まりました。前原誠司氏、43歳。若い人材の登用で、戦う民主党を全面に出していきます。私も彼の推薦人として名を連ね、今回の執行部では、その結果に責任をとる覚悟を表明しました。この一年が勝負です。

今回の選挙では、小選挙区で勝ちあがった民主党の議員は52名。自民党の219名と比べると1対4の割合で大敗をしました。一方、得票数では民主党合計で2480万票。自民党が3252万票。1対1.3の違いしかありません。30%開いた票が当選議員の数にすると4倍の較差に拡大されました。小選挙区制の威力です。比例では、民主2104万票に対して自民2588万票です。1対1.2の差を今後の努力でひっくり返せないはずがない。民主党を信じ、応援していただいた皆さんに、必ず報いていくことを、皆で決意しています。これから我われの反転攻勢を見ていただきたい。

21日には、国会が召集されて新たな戦いが始まりました。

○戦う民主党の最前線へ

議院運営委員会筆頭理事

議院運営委員会の筆頭理事に就任しました。戦う民主党の最前線で国会運営を与党と交渉する役割です。今考えると、イラクへの自衛隊派遣法案が特別委員会にでた時、私が筆頭理事で采配を振り、乱闘騒ぎで手傷を負った事がありました。あの時の国対委員長が野田さんだったのが運の尽き。彼には、「中川は、また戦う。」と思いついでいるフシがあって、その結果、私が引っ張られたようです。

与党は、憲法と国民投票法の法案審議のための特別委員会設置を提案してきました。これまで議案提案権のなかった憲法調査会を、形骸化させて、新しく強い委員会を設置する意図があります。与党は、この際、強引に憲法改正に持ち込む腹だと思えます。

21日には、河野洋平議長、横路孝弘副議長と小泉総理の首班指名がありました。議場でも委員会の構成でも自民党議員が圧倒的に増えた事を実感させられます。次の選挙でこの自民党バブルをひっくり返すことです。

28日には総理の所信表明に対する各党代表質問です。民主党は、前原代表と鳩山幹事長が質問に立ちます。総理は、相変わらず郵政民営化を言い続けるようです。しかし、身近な問題から言えば、アスベストの対策、年金の協議会が9月に結論を出すと言ってきたにもかかわらずそのままになっている問題、イラクやアフガニスタンへの自衛隊派遣の期限切れの問題、北朝鮮や米軍再編、国連安保理の常任理事国入りなどの問題が山積しています。内閣提出法案が22本出てきますが、中でも障害者自立支援法などは、所得の限られた障害者の人々に介護サービスの利用者負担を負わせる過酷で現実を無視した内容になっていて、関係者は、大きな危機感を持って国会に結集しています。国会の舞台上、今回の国民の小泉自民党への選択がいかに大きな問題をはらんでいるか、はっきりさせていく事だと思っています。